

愛されるふるさと なとり
～共に創る 未来へつなぐ～



名取市
City of Natori

報道関係者 各位

Press Release



令和2年12月15日
名取市企画部政策企画課

閑上地区における「心の復興事業」について ～ミュージカル「ジパング青春期」とのコラボステージのご案内～

12月20日（日）13：30より、義務教育学校名取市立閑上小中学校体育館で開催されるミュージカル「ジパング青春期」の公演終了後、心の復興事業として取り組んできた地域住民とのコラボステージが披露されます。

東日本大震災から復興した閑上の街で地域住民の心の復興とコミュニティづくりを支援している「心の復興を願う閑上実行委員会」では、今般、復興庁の助成を受け、世代間交流のきっかけづくりと子どもと高齢者とのふれあいの場を創出するため「歌・ダンスなどで心を開放し笑顔になろう」をテーマに、劇団わらび座から講師を招き、閑上地区住民、小中学生、地域企業などあらゆる主体を対象とした「踊り」と「和太鼓」の参加体験型ワークショップを開催してきました。

当日は、劇団わらび座によるミュージカル「ジパング青春期」の公演終了後に、このワークショップの成果を披露する閑上らしいコラボステージが行われますので、ぜひ、取材等をいただければと思います。

記

1. 日 時 令和2年12月20日（日） 開 場 13：00～16：00（予定）
2. 場 所 義務教育学校 名取市立閑上小中学校 体育館
(名取市閑上字佛文寺27番地36-1街区1画地)
3. 備 考 地域住民のワークショップ成果発表は、ミュージカル終了後の15：30頃から開始される予定ですが、当日の進行状況により前後する場合がございますので、予めご了承ください。

【問い合わせ】

名取市企画部政策課政策係 馬場

TEL：022-724-7144 FAX：022-384-9030

※不在の場合は折り返しご連絡いたします。

＼ 閑上っ子も大人もみんな集まれ！！ ＼



「踊り」と「和太鼓」 参加体験型 ワークショップ開催



東日本大震災から復興した、閑上地区。
こどもから大人まで「世代間交流と互いの顔の見える地域づくり」をテーマに、
劇団わらび座より劇団員を講師に招き、
「踊り」と「和太鼓」の参加体験型ワークショップを開催します。

2回の指導を受けたのち、劇団わらび座のミュージカル公演「ジパング青春記」の公開終了後、閑上らしいコラボステージを開催します。プロの指導を受けて、みんなで笑顔になろう！！



みんなの閑上 ふるさと讃歌のステージを一緒につくりましょう！

参加費無料

全3回

【第1回／練習】

2020.11.14(土)

13:30～16:30

場所 閑上小中学校体育館

**踊りコース
和太鼓コース**

【第2回／練習】

2020.12.19(土)

13:30～17:30

場所 閑上公民館
閑上小中学校体育館

➤ **各定員20名**

【第3回／ステージ】

2020.12.20(日)

ミュージカル公演後

15:00頃～

場所 閑上小中学校体育館

＼ 小学1年生以上、ご自身で歩ける方！皆様のご参加をお待ちしております！ ＼

* この事業は、復興庁「心の復興事業」の助成を受けて行っています *

【主催】 心の復興を願う閑上実行委員会

【後援】 名取市／名取市教育委員会

【協力】 劇団わらび座／閑上小中学校 PTA／閑上児童クラブ

ミュージカル

ジパング

青春記

～慶長遣欧使節団出帆～

見つけ出そう
俺たちの国。

作・作詞・演出
横内謙介

作曲
深沢桂子

振付
ラッキィ池田
彩木エリ

わらび座
WARABITZA

ZIPANG GRAFFITI 1613

ミュージカル
この船は奇跡そのものだ。

STORY

1611年(慶長16年)、慶長の大地震・津波が三陸を襲った。2年後、荒れた農地は未だ回復せず、家族や仲間を奪われた人々の心の傷もまだ癒えていない。すべてを失い、石巻の海辺をさまよう一人の若者がいた……。その名は、リウタ。

そんな時、藩主・伊達政宗は若者や村人たちに、1,000本の木の切り出しという、新しい仕事を授けたのだ。目的を知らされない村人たちの間では「これは殿様の道楽のためにちがいない」という噂が広がった。噂を信じ怒り狂ったリウタは、短刀を胸に政宗に襲い掛かろうとする……。伊達政宗の本当の目的とはいったい何なのか。そして、リウタの運命は……。

制作意図

今から約400年前に三陸沿岸を襲った、慶長の大地震・大津波(1611年)。それからわずか2年のうちに、500トンの黒船サン・ファン・パウティスタ号を建造し、海外との交易を目指して伊達政宗の歴史的プロジェクト(慶長遣欧使節団)は出帆してゆきました。

東日本大震災を経て、慶長の大震災が明確な実態となって見えてきた時、未曾有の自然災害から、傷つきながらも復興を果たさんとする政宗公はじめ、東北の人々の姿が浮かび上がってきたのです。わらび座は東北の劇団として、この不屈の精神を受け継ぎ、舞台化することを決意しました。

自然災害の絶えない日本。このストーリーは今や“東北の物語”にとどまりません。困難を乗り越え、歩み続けてきたすべての人々の想いや祈りをのせて、全国の皆様に「ジパング青春記」をお届けします。



※これらの写真は2017年度に公演された際の記録写真であり、今回の全国公演に登場するキャストとは異なります。撮影：コンドウダイスケ

CAST

- 小山 雄大
- 岡村 雄三
- 戎本 みる
- 椿 千代
- 天野 翔太 (フリー)
- 小林 弥央
- 黒木 友宜
- 千葉 真琴
- 内田 勝之
- 瀧田 和彦 (扉座)
- 菊地 結夢
- 富樫 美羽

STAFF

作・作詞・演出：横内謙介 | 作曲：深沢桂子 | 編曲：前嶋康明 | 振付：ラッキョ池田・彩木エリ | 美術：金井勇一郎 | 照明：塚本裕 | 音響：福地達朗 | 衣装：樋口藍 | ヘアメイク：馮啓孝 | 小道具：平野忍
演出助手・振付助手：安達真理 | 音楽助手：わたなべのぶこ | 舞台監督：柳野岳 | 宣伝美術：澁谷和之 (澁谷デザイン事務所) | 宣伝写真：船橋陽馬 (根子写真館)

わらび座 〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖幸田字早稲田430 TEL:0187-44-3316 FAX:0187-44-3318 MAIL:info@warabi.or.jp

【後援】復興庁・宮城県

https://www.warabi.jp/

【企画・制作】わらび座

このミュージカルは、メイド・イン・秋田です。

人の営みの中にある本当の豊かさを教えてくれた秋田に育まれて69年。劇団わらび座のホームシアターは、あきた芸術村(わらび劇場)です。

2020.12.20 《日》 SUN 開演 13:30 [開場 13:00]
終演予定時間 16:00

会場 名取市関上小中学校体育館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、距離を空けた座席配置となります

◎ご来場のお客様の安全・健康を最優先に考え感染防止対策を徹底したうえで上演させていただきます

◎ジパング青春記上演後に地元の方々による関上讃歌のステージがあります

主催：心の復興を願う関上実行委員会 後援：名取市、名取市教育委員会

協力団体：関上小中学校 PTA・関上児童クラブ

お問い合わせ 心の復興を願う関上実行委員会 副実行委員長 菅井 啓貴

チケットお申込み Tel 080-1822-3758 (9:00 ~ 20:00 最終お問合せは 12/6 迄)

この事業は、復興庁「心の復興事業」の助成を受けて行っています

入場無料

◎当日は暖かい服装にて上履きもご持参くださいますようお願いいたします。

全国ツアー
ファイナル公演

2020.12.22 18:30 開演

会場 東京エレクトロンホール宮城

全席指定 S席 6,000円
A席 5,000円

お問い合わせ わらび座 劇場事業本部

【電話】0187-44-3332 (平日 9:00~17:30)

【メール】o-kita@warabi.or.jp

【FAX】0187-44-3318